

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年06月06日

計画の名称	小川町宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	小川町												
計画の目標	大規模盛土造成地の変動予測調査（第二次スクリーニング計画）で抽出された大規模盛土造成地についての詳細調査（第二次スクリーニング）を行い、地震時に活動崩落により被害を受ける危険性の有無を把握することを目標とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	35	A	35	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R2末	R3末
1	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地（83箇所）について現地踏査等を行い、第二次スクリーニング実施個所の優先度評価を行う。 第二次スクリーニング計画（現地踏査、優先度評価）の実施箇所数	0箇所	83箇所	83箇所
2	優先度の高い大規模盛土造成地について第二次スクリーニング（地盤調査、安定解析）を実施する。 第二次スクリーニング（地盤調査、安定解析）の実施	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	小川町	直接	小川町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画(現地踏査、優先度評価)83箇所、第二次スクリーニング(地盤調査、安定解析)の実施	小川町						35	-	
												小計						35	
											合計						35		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として小川町で実施	令和4年4月
	公表の方法
	町ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和2年度に第二次スクリーニング計画を策定。 令和3年度に計画に基づき、優先度の高い3箇所について第二次スクリーニングを実施。その結果、滑動崩落防止工事が緊急に必要となる盛土はないことが判明した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
変状の発生状況や進行状況の点検をすることが望ましいと評価された盛土について、今後経過観察を実施していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	83箇所
	最終実績値	83箇所
第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地（83箇所）について現地調査等を行い、第二次スクリーニング実施個所の優先度評価を行う。		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
優先度の高い大規模盛土造成地について第二次スクリーニング（地盤調査、安定解析）を実施する。		